

平成30年松本市議会12月定例会

市長提案説明

[30.12.3(月) PM1:00]

本日ここに、平成30年松本市議会12月定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方にはおそろいでご出席をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり、先月17日、松本山雅FCを愛するサポーターや大勢の皆さん共々、青空の広がるアルウィンにおいて歓喜の瞬間を迎えることができました。

当日は、緑一色に彩られた四方のスタンドから、熱きサポーターや大勢の市民による大きな声援が、ひと時も止むことなく送られ続け、松本山雅FCが、見事、J2リーグ初優勝し、併せてJ1復帰を果たしました。

改めて、松本山雅FCの選手の皆様、並びに、反町康治監督に深く敬意を表し、お喜びを申しあげる次第でございます。

更に、「ONE SOUL」、心一つにして声援を送り続けた山雅サポーターの皆様方は、地域の誇りであり、改めて敬意を表したく存じます。

松本市といたしましても、市民と松本のまちに活力を与え、貴重な地域資源とも言える松本山雅FCを、引き続き応援してまいりますとともに、松本山雅FCのJ1リーグにおける活躍を大いに期待して止みません。

次に、「セイジ・オザワ 松本フェスティバル」について申し上げます。

ご承知のとおり、体調面を考慮して、小澤征爾総監督の

松本入りがかなわなかった中での本年のフェスティバルではありましたが、お陰様で好評のうちに、9月7日に閉幕したところでございます。

年明けの来月24日には、2年ぶりの特別公演となる「サイトウ・キネン・オーケストラ ブラス・アンサンブル」が松本市音楽文化ホールで開催されます。

この特別公演は、サイトウ・キネン・オーケストラの金管・打楽器奏者12名によって編成され、松本市のほか、東京・大阪など全国6都市で公演が予定されております。

松本市といたしましても、成功を期し、実行委員会共々しっかりと支援してまいりたいと考えております。

また、明後日の5日には、ドイツ・グラモフォンの創立120周年のガラ・コンサートが、東京のサントリーホールで開催され、サイトウ・キネン・オーケストラが演奏することとなっております。

このコンサートにおいて、短時間ではありますが、マエストロ小澤征爾氏の指揮も予定されておりますことから、お元気なご様子がうかがえるものと楽しみにしております。

それでは次に、本市が抱える懸案事項等について申し上げます。

始めに、先月21日の水曜日に実施いたしました「平日ノーマイカーデー」について申し上げます。

ご案内のとおり、これまでのノーマイカーデーは、休日の中心市街地において、自動車を通行止めにし、バスのみを通すランジットモールを設け、まち歩きを楽しむ歩行空間を創出する取組みとして実施してまいりました。

この度の「平日ノーマイカーデー」は、通勤時における自家用車の使用を自粛し、バスを始めとした公共交通機関や自転車、徒歩による通勤を、市民の皆様幅広くお願いした、松本市として初めての取組内容といたしました。

今回は、「あがたの森通り」にバス専用レーンを設け、来るべく次世代交通を展望し、公共交通を優先する姿を体感していただくこととし、一方で、臨時のパークアンドライド駐車場からバスへの乗換えを誘導するなど、新たな試みに取り組んだところであります。

当日は、松本警察署のご協力の下、多くの企業や市民の皆様にもノーマイカー通勤を実践していただき、この場をお借りして、深く感謝を申し上げます。

初めての取組みということもあり、成果を語ることはできませんが、若干の混乱の中で、少なくとも松本市の試みについて関心を寄せていただけたものと考えております。

今後は、更に広範囲かつ、継続的な取組みにするなど、自動車優先社会からの転換と、公共交通を軸としたまちづくりを一層推進し、次世代交通政策の具現化に向け、更なる取組みを進めてまいります。

いずれにしましても、新たな行政的イノベーションを誘導するためには様々な声があろうかとは思いますが、まずは実行に移すことが必要不可欠であるものと思料いたしております。

次に、「松本城の世界遺産登録に向けた取組み」について申し上げます。

去る6月、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」

が、日本で22番目の世界遺産としてユネスコの世界遺産一覧表に記載され、また、11月には、国が、2020年の世界遺産登録を目指すとして、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」を、ユネスコ世界遺産委員会に推薦することを決定いたしました。

そこで、松本城の世界遺産登録につきましては、犬山城、松江城などと、「近世城郭の天守群」による姫路城の拡張遺産としての登録を目指して、引き続き、必要な調査・研究などの取組みを着実に進めておるところでございます。

このような中、去る10月22日から26日にかけて、滋賀県彦根市において、「ICOFORT国際会議2018」が、日本で初めて開催された機会に、松本市として29日に、ICOFORT委員長ほか3名の海外専門家を本市へお招きいたしました。

このICOFORTは、ユネスコ世界遺産の答申などを行うICOMOSの国際学術委員会の一つであり、世界の城郭、要塞、その他の軍事遺産についての歴史的評価や価値付けの調査などを行っている機関であります。

松本市といたしましては、ICOFORT委員が一堂に会するこの機会を、現在研究を進めております「近世城郭の天守群」に係る「顕著な普遍的価値」の証明に関して、海外の専門家から直接指導・助言をいただく絶好の機会と捉え、「近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会」を構成している、犬山市、松江市、長野県関係者と、「近世城郭の天守群の価値を検討する国際専門家会議」を開催したところでございます。

大変有難いことに、ICOFORT委員長など海外の専門家からは、「複数の天守による連続する資産での世界遺産登録である、シリアルノミネーションについては賛成であ

る」とのご意見や、「住民が松本城を中心に様々な保存活動を行うなど、地域と松本城が大変良好な関係が築けていることから、これを続けていけば松本城は素晴らしい事例になる」、といった評価をいただいたところでございます。

今後は、この度のご指導やご助言を参考に、暫定一覧表記載に向け、一層、調査研究を進めてまいりたいと考えております。

次に、「信州まつもと空港」について申し上げます。

先月7日、長野県は、国の将来の航空交通システムに関する長期ビジョンの協議会において、信州まつもと空港が、航空機の新しい進入方式である「RNP-AR進入方式」の来年度導入空港として、検討が進められていることを明らかにいたしました。

これは、世界的に導入が進められている、GPSを活用した高規格な進入方式であり、国内では、仙台空港など29の地方の空港や羽田空港で既に導入されております。

この方式が導入されることにより、障害物を避けた曲線進入経路など柔軟な経路設定が可能となり、松本空港にあっては、効率性・安全性の向上が図られ、また、就航率の更なる向上にも寄与するものと考えられております。

今後、国の航空局や航空会社など関係機関による経路設計・検討が行われ、導入の可能性について検証が行われます。

松本市といたしましては、このことにつきまして、かねてより地元県議会議員との懇談会を始め、機会あるごとに長野県と意見交換を行ってまいりましたことから、良い結果が導かれることを期待しております。

次に、「市役所新庁舎」について申し上げます。

市役所新庁舎の検討につきましては、本年7月18日に開催いたしました、「市役所新庁舎建設特別委員会」におきまして、新庁舎の理念や基本的な考え方などについてご協議申しあげ、ご了承をいただいた上で、「松本市役所新庁舎建設基本構想」を策定いたしました。

その後、これまでの間、新庁舎建設事業の内容をより具体化する、「市役所新庁舎建設基本計画」の策定に向け、基本計画策定支援業務の受託者選定手続きを進め、先月16日に、支援を受ける業者との契約が整ったところでございます。

今後は、知見を有する専門家のアドバイスを得ながら、新庁舎建設基本計画案を作成していくこととなりますが、作成に当たりましては、庁内の検討のみならず、市民懇話会や市民ワークショップを開催するなど、引き続き、市民の皆様の声に耳を傾けながら、取組みを進めてまいります。

また、市議会に対しましても、市役所新庁舎建設特別委員会に、機会を捉えご相談しながら進めてまいりますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、「平成31年度の予算編成方針」について申し上げます。

まず、その前提となる現在の日本の経済動向について若干申し上げます。

日銀は、10月に発表した「短観（9月調査）」において、業況判断指数（DI）は、前回の6月調査に比べ、大企業、中堅企業、並びに中小企業を合わせた全産業のト一

タルで 1 ポイント悪化したとしながらも、依然としてプラスを持続しているとしております。

先行きにつきましても、米中貿易摩擦や人手不足などへの懸念から慎重な見方が強いものの、景況感の底堅さは継続しているとしております。

また、先月 14 日に内閣府が発表した「7 月から 9 月期」の GDP 速報値は、台風や地震などの自然災害が相次いだことによりマイナスとなりましたが、そうした影響が解消される「10 月から 12 月期」は、再びプラスに回帰するという見通しを示しています。

次に、長野県の経済状況ですが、日銀松本支店は、先月 6 日に発表した「長野県の金融経済動向」において、「『個人消費は底堅く推移して』おり、『雇用・所得は着実な改善』が続いている。また、『設備投資は増加しており』、『生産は高水準横ばい圏内で推移している』ことから、長野県経済は、『緩やかに拡大している』」と判断しております。

一方、松本市の経済状況につきましては、9 月の「中小企業景気動向基本調査」における全産業での業況 DI が、前年同月比マイナス 10.9 ポイントと、前月に比べマイナス幅が 4.4 ポイント拡大し、建設業以外の全ての業種がマイナスとなったことから、国や県の状況と比べ、市内の景況感が行きわたっていない厳しい状態がうかがえます。

こうした経済の動向を踏まえ、松本市の今後の財政を見通しますと、市税収入におきましては、個人市民税・法人市民税ともに、大幅な増額は望めない状況にあります。

それでは、このような状況の下で編成してまいります、

平成31年度の当初予算について申し上げます。

ご承知のとおり、来年度は、私が市政を担って、4期目の最終年度になります。

昨年度の野村総合研究所や、今年度の森記念財団都市戦略研究所などからいただいた多項目にわたる指標の客観的分析調査による高い評価は、これまで議会を始め、市民の皆様とともに進めてきた「まちづくり」の結果であります。その評価におごることなく、一層各施策の充実に取り組んでまいります。

来年度も引き続き「健康寿命延伸都市・松本」を深化させ、20年先、30年先を見据えながら、「生きていて良かった、住んでいて良かったと感じられる、品格のあるバランスのとれたまち」を目指し、「生きがいの仕組みづくり」を更に進める予算編成を行ってまいります。

それでは、ただいま上程されました議案について、ご説明申し上げます。

本日提案申しあげました議案は、条例4件、予算2件、契約1件、財産3件、道路1件、その他16件の、合わせて27件となっております。

まず始めに、条例について申し上げます。

去る6月定例会で改正した条例の附則の一部を見直すもの、老朽化した施設を廃止するもの、人事院勧告による国家公務員の給与改定に準じ、期末手当の支給率の見直しなどをするためのもの、条例改正4件を提出しております。

次に、補正予算について申し上げます。

今回の補正予算では、国の補正予算に伴う政策的経費や、特に緊急に予算措置が必要となった経費を計上しており、一般会計で5億3,139万円の追加、下水道事業会計では4億4,280万円の追加、全体の補正規模は、9億7,419万円の追加となっております。

始めに、一般会計の主な補正内容を申し上げます。

今年の夏の猛暑を受け、そのための対応として、小中学校にエアコンを設置する経費を、合わせて4億6,150万円計上しております。

これは、国の補正予算による補助を取り込んで実施するもので、平成30年度、31年度の2カ年で、小学校の1、2年生の普通教室、特別支援学級室、パソコン室や音楽室、職員室などの特別教室に、また、中学校では、図書室や音楽室、職員室などの特別教室にエアコンを整備するものでございます。

松本市では、すべての生徒が涼しさを共有できる特別教室を優先して、エアコンを配備していくことを基本的な方針とした上で、更に1・2年生の低学年に限り、普通教室へも配備を行うこととし、それ以外の教室への整備につきましては、今後、引き続き検討してまいることとしております。

その他、中学校の部活動調査に係る経費などの、国からの補助金の内示があった事業や、リンゴ黒星病の防除対策に要した経費への補助など、急を要する政策的な経費を計上しております。

また、下水道事業会計では、国庫補助の内示に伴い、宮渚浄化センター、並びに両島浄化センターの長寿命化事業の進捗を図るための経費を計上しております。

次に、契約につきましては、島内地籍に整備する災害支援物資集積拠点施設の造成工事の請負契約1件を提出しております。

財産につきましては、市美術館の美術資料の取得など3件を提出しております。

その他の議案といたしましては、市道の認定、字の廃止、奈川社会就労センターなど、61の公の施設に係る指定管理者の指定に関する議案13件、訴えの提起1件、和解1件を提出しております。

また、議案以外のものとして、市長の専決処分事項の指定にかかわる報告3件を報告いたしております。

なお、今会期中には、「教育委員会委員の任命」、「公平委員会委員の選任」、並びに「固定資産評価審査委員会委員の選任」に係る人事案件3件について、追加提案させていただきます。

以上、本日提案いたしました議案等についてご説明申し上げましたので、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

(以上)